

プロモーションアドバイザー派遣事例紹介（越前市）

2025年9月に、プロモーションアドバイザーである株式会社ゼロファーストデザインの佐戸川氏を福井県越前市に派遣しましたので、本事例についてご紹介します。

1 概要

日程 : 2025年9月29日(月)～30日(火)

派遣方法 : 現地派遣

派遣者 : 株式会社ゼロファーストデザイン

代表取締役 佐戸川 清 氏 (以下、「アドバイザー」)

申請者/派遣先 : 福井県越前市

相談内容 : 越前和紙産業においては、生活様式の変化等により需要が減少、それに伴い産地全体の生産規模や従事者数も減少の一途をたどっている。越前和紙の海外に向けた情報発信や販路開拓によるブランド力の向上・需要拡大を図りたい。

2 派遣内容

(1) 現地視察

はじめに、今後フランスへの展開を検討している事業者と、すでにフランス市場に進出し積極的に販路拡大を図っている事業者の2社を訪問し、それぞれの海外展開の現状や課題、疑問点等についてお話を伺いました。事業者からは、海外市場での需要変化や販路拡大に向けた戦略の見直しや新しい用途開拓、ブランド価値をどう伝えるかといった課題や現状が挙げられました。

アドバイザーからいただいた主な助言内容は、以下のとおりです。

(越前市の報告書より)

- ・「フランス市場における和紙の認知度・ブランドイメージ」について、美術・アートでは高評価を得ており、和紙照明器具なども注目されているが、一般層への認知度はまだ限定的
- ・「フランスにおける日本の伝統工芸・和紙需要の傾向とトレンド」について、伝統工芸品全般が高級でサステイナブルな素材として再評価されつつあり、和紙も高級でエシカルな素材として注目されている
- ・「越前和紙の競合ブランド及び現地製品の動向」について、国内産地では美濃和紙や海外展開する阿波和紙、国外では中国宣紙やネパール紙、フランス現地メーカーの和紙風工業製品など、競合環境は多様であるが、「日本最大級の産地による高品質と多様性」という越前和紙のもつポテンシャルが今後のフランス市場攻略に活かせる鍵となる
- ・「ブランド構築のための有効なプロモーション手法」について、パリで開催されるデザイン系見本市への出展や、高級ブランドやデザイナーとのコラボによるブラ

ンド価値の向上があるが、とりわけ重要なのは、SNS 等のデジタル媒体を活用した情報発信をいかに上手く行うかである

- ・「越前和紙がブランディングに活用すべきストーリーテリング要素」について、フランス人は文化的背景やストーリーに関心が強く、1500 年以上続いている工芸としては世界的にも群を抜いたスケールや、卓越した職人技に価値を見出し、また、良質な水などの自然環境と一体となって地域の人々が紙漉き文化を守ってきたことによって和紙が生み出されるという点は、エシカル消費やローカル志向を持つ層に訴求する
- ・「越前和紙のブランド力強化と販路拡大戦略」について、アート・美術分野、建築分野、ラグジュアリーブランド分野など、ターゲットごとにセグメントしたアプローチが必要で、各々に有効な相手方や手法があることから、それを見定めることが重要（6つの分野について個別に具体的な助言あり）



3 越前市からのコメント

派遣後、越前市からは、「アドバイザーからも助言のあった明確なブランドイメージの策定に向け、ブランドストーリー作りや資料・動画などの媒体整備といった、営業のための情報整理に着手したい。その後、現地調査・市場ニーズの把握、ネットワーク構築、現地での国際的な展示会の出展など、段階的にステップを踏みながら、最終的には販路開拓に繋がるようなターゲットを絞ったアプローチができるところまで発展させていきたい。」と伺いました。

クレアでは引き続き、専門的知見、ノウハウ、経験をもつアドバイザーの派遣を通して、自治体の海外プロモーションを支援してまいりますので、是非お気軽に御相談ください。

(経済交流課 大谷 (岡山県備前市から派遣))